

北海道浮魚ニュース

平成 27 (2015) 年度 6 号

2015 年 7 月 2 日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎日本海スルメイカ漁場一斉調査結果

6 月 23 日～ 30 日の期間、北海道渡島大島周辺から瀬棚沖にかけての日本海で、函館水産試験場調査船金星丸 (151 トン、イカ釣機 5 台、集魚灯 20 灯装備) により実施したスルメイカ調査の結果をお知らせします。

- ・調査を行った 3 点のスルメイカ平均分布密度は昨年及び過去 5 年平均を下回った。
- ・魚体サイズは昨年と同程度かやや大きい。

1. 水温分布 (図 1)

漁獲調査点 7 点のうち調査を実施した 3 点の表面水温は 16.8 ～ 19.1 °C (昨年同一調査点 13.8 ～ 19.3 °C)、水深 50 m の水温は 6.3 ～ 11.7 °C (昨年同一調査点 8.3 ～ 9.0 °C) でした。

スルメイカの分布の目安となる水深 50m 層の水温は、今回調査を実施した海域では昨年よりも沿岸で高く、沖合で低くなっており、全体として岸近くと沖合との水温の差が大きい傾向がみられました。

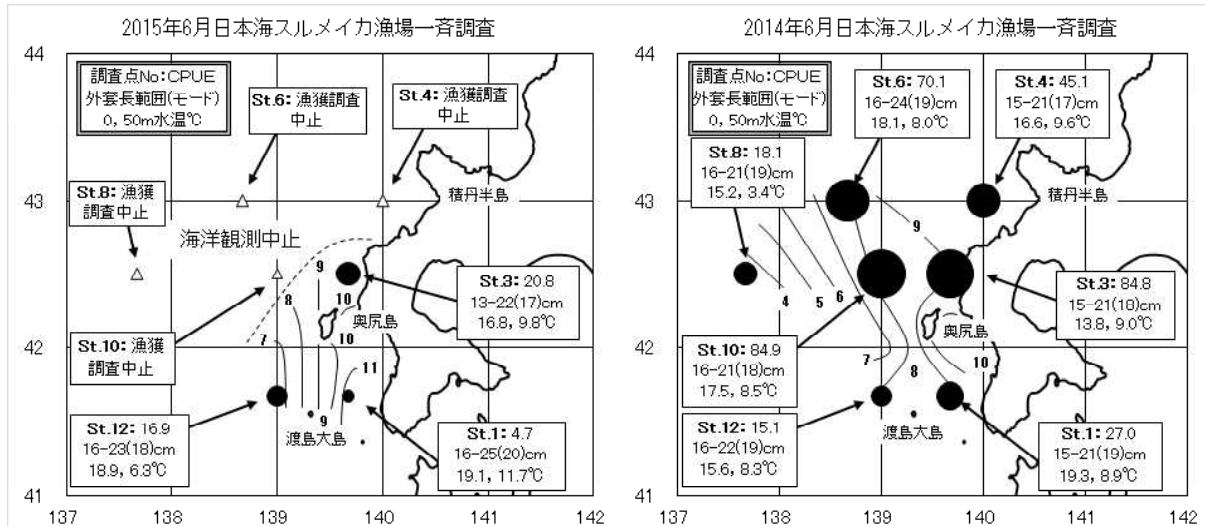


図 1 スルメイカ漁獲調査結果 (2014 年との比較)。●は漁獲調査点を示し大きさは CPUE に比例。△は漁獲調査中止。等温線は水深 50m の水温 (°C)

2. 分布密度 (図 1、表 1)

漁獲調査点 7 点のうち調査を実施した 3 点の CPUE (2 連式イカ釣機 1 台 1 時間当たり

表 1 2010年～2015年6月漁場一斉調査の地点別 CPUE

調査点	北緯	東経	概要	2010	2011	2012	2013	2014	2015	過去5年
St. 1	41-40	139-40	上ノ国沖	26.7	46.5	3.4	30.2	27.0	4.7	26.8
St. 3	42-30	139-40	瀬棚沿岸	42.2	23.1	196.7	44.4	84.8	20.8	78.2
St. 4	43-00	140-00	島牧北方	8.6	23.7	54.1	4.3	45.1	--	27.2
St. 6	43-00	138-40	積丹半島西方沖	16.2	7.1	5.6	4.2	70.1	--	20.7
St. 8	42-30	137-40	檜山西方沖	--	--	--	5.0	18.1	--	11.6
St. 10	42-30	139-00	瀬棚沖合	30.7	9.6	23.2	4.4	84.9	--	30.6
St. 12	41-40	139-00	渡島大島西方	17.3	14.3	12.2	6.6	15.1	16.9	13.1
平均CPUE				23.6	20.7	49.2	14.2	49.3	14.1	29.7

の漁獲尾数)の平均は14.1で、昨年(全調査点49.3、同一調査点42.3)及び過去5年の平均(全調査点29.7、同一調査点39.4)をともに下回りました。各調査点のCPUEは4.7～20.8(昨年全調査点15.1～84.9、同一調査点15.1～84.8)の範囲にありました。

3. スルメイカの大きさ (図1、図2)

調査を実施した3点のスルメイカ外套長(胴長)の範囲は13～25cm(昨年15～22cm)でした。最も多く出現したイカの大きさ(モード)は19cm(昨年18cm)で、全体的な魚体の大きさは昨年と同程度かやや大きくなりました。各調査点のモードの範囲は17～19cm(昨年全調査点17～19cm、同一調査点18～19cm)にありました。

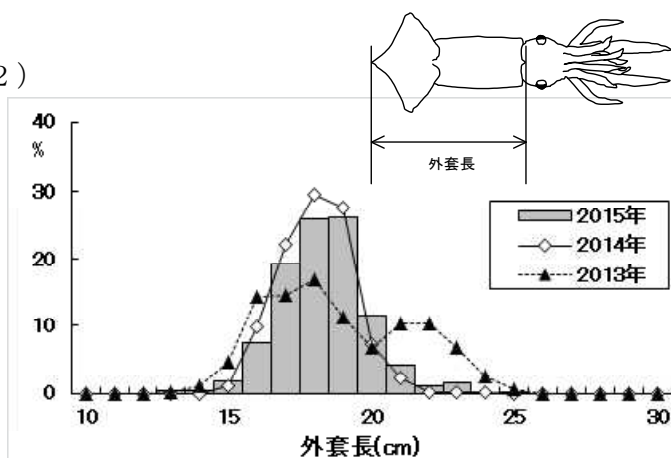


図2 調査海域全体の外套長組成

4. 標識放流 (図3)

調査期間中、2調査点で合計765尾の標識放流を行いました。放流したイカはヒレの付け根部分に、表面にアルファベットと2桁の番号、裏面に「JPN」の文字が記された黄色のタグが打たれています。現在、同様の標識を用いた放流が函館水試のほか国及び他府県の機関でも実施されています。標識のついたスルメイカを再捕された方は最寄りの水産試験場まで報告いただきますようお願いいたします。

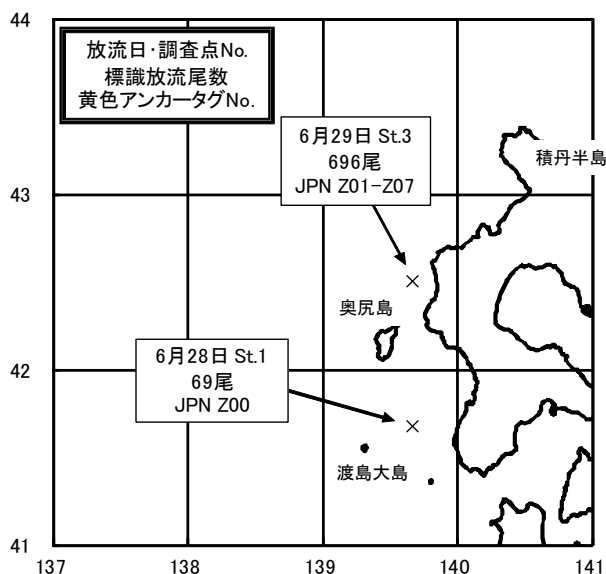


図3 標識放流の位置・放流日・尾数及び標識番号

(函館水産試験場調査研究部 TEL: 0138-83-2893、FAX: 0138-83-2849)